



園児の体調管理システムがNHKテレビで放映されました

突然死を防ぐ特殊な肌着を導入

乳幼児の突然死を軽減する目的で福井市の社中央第一・第二こども園では今年の4月から特殊な肌着にIT機器を取り付けて、乳幼児の安全や保育士の負担軽減を行っている。

乳幼児の登園から降園までの終日、体温・心拍数や午睡時の呼吸・姿勢などのデータが、保育士が持つタブレット端末に自動送信され、体調等が異常の場合は警告音や色表示によりリアルタイムで保育士に知らしめる新装置で乳幼児の体調の管理が行われている。



6:34

こども園で乳児の突然死防ぐ
特殊な肌着導入

肌着

「うつぶせ寝」になると
保育士のタブレット端末に警告表示

6:35

こども園で乳児の突然死防ぐ
特殊な肌着導入

社会福祉法人
やしろ中央会
山田 健治 理事長

IT機器と人間とが一緒になって
そしてしっかりした安全性を保っていく